

令和6年度 子ども大学ふじみ野

1. 実施体制

子ども大学ふじみ野	学長	高畑 博（ふじみ野市長）
	副学長	小栗 俊之（文京学院大学 人間学部）
子ども大学ふじみ野実行委員会	実行委員長	菫蒲澤 侑（文京学院大学 人間学部助教）
	実行委員 （関係団体）	ふじみ野市（協働推進課）、文京学院大学、東入間青年会議所
	問合せ先	子ども大学ふじみ野実行委員会事務局 ふじみ野市協働推進課内 電話049-262-8123 FAX049-266-1227 ikigaisuishin@city.fujimino.saitama.jp

2. 事業内容

開催回数	2回	開催期間	令和6年11月23日～令和6年11月24日			
参加者数	24名	内訳	小学4年生	12名		
			小学5年生	9名		
			小学6年生	3名		

3. 実施内容

1 日目	開催日時	1 1 月 2 3 日 (土・祝)	
		13 : 20 ~ 16 : 30	
その他 (生き方学・ふるさと学)	会場	文京学院大学	
	講義名	「おやつで感じる多文化」	
	講師	ふじみの国際交流センター ボランティア講師	
2 日目	開催日時	1 1 月 2 4 日 (日)	<p>2か国の講師の講義のあと、それぞれの国のおやつを作ります。</p>
はてな学	会場	文京学院大学	
	講義名	「パワーポでデザイン★わたしの国際理解」	
	講師	菖蒲澤 侑 (文京学院大学 人間学部助教)	
			<p>1日目に学んで作った内容を、パワーポイントでまとめていきます。</p>

4. 参加者の声

<p>参加した子供の声 (感想)</p>	<ul style="list-style-type: none">・いろいろなお菓子があることが知れた。・みんなで協力して作ったお菓子の味（が心に残った）。・料理の時、外国人の人と関わることや初めて会う人に関わることができるところがためになりました。・中国のことやミャンマーのことをたくさん知れました。あと、スアンジャオを作ってすごく楽しかったです。・ミャンマーの昔の名前はビルマということ。中国人の魅力は顔がきれいということ。料理が楽しかった。パウポで作るのが楽しかった！！・楽しみながら、他国の文化やおやつなどについて知れたので、とても良かったです。パワーポイントでもちゃんと文章を書けました。・外国の人たちと話せたりして楽しかった。中国やミャンマーの文化の違いが分かった。・ミャンマー、中国もあわせて、他の国にあまり興味を持たなかったなので、この授業をやって興味を持てるようになりました。また、お菓子はたくさんあると感じました。
<p>保護者の声 (感想)</p>	<ul style="list-style-type: none">・子どもたちが国際社会に目を向けるよいきっかけになりました。・他の学校の子とも仲良く過ごせたようで、よい経験になったと思います。・料理やお菓子作り、食べることが大好きなので、海外の方から学べて、その国について身近に感じしっかりと頭に入る、とても良い経験になったと感じました。・お菓子作りでは見たことも食べたこともないお菓子を自分で作って、味わって、他国の文化を肌で感じる事ができ、興味を持つきっかけになったと思います。パワーポイントも自分の作品を自慢してくれ、自信がついたようでした。・異文化の話しをその国の人から教えてもらったのは、テレビなどでみるより、本人に伝わりやすかったようです。・大学という空間で特別感があって嬉しそうでした。